

平成 26 年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5 年間指定）

2015 SGH通信

【1 年生配布用】

No7 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

今後は 5 領域の分野について知識を共有していきたいと思います。今回は【比較教育】分野です。

◆ 学校に行けない子どもたちについて考えよう

資料 1) 東南アジアの就学率（基礎教育）

国・地域	若者（15-24 歳） の識字率（%）		初等教育				中等教育	
			就学率（就学適齢者に占める割合）		小学校に入学した生徒が最終学年まで残る割合（%）	就学率（就学適齢者に占める割合）		
			男	女		男	女	
					政府データ	男	女	
カンボジア	88	86	85 y	83 y	61	46	45	
ベトナム	97	97	98	98	94	78	84	
インドネシア	99	99	92 y	90 y	88	57x,y	59x,y	
東アジアと太平洋諸国(平均)	99	99	92*	91*	89	64*	66*	
サハラ以南のアフリカ(平均)	76	64	73	71	57	34	32	

2008 年から 2012 年までの間で各国の一番新しいデータを使用。

UNICEF「世界こども白書 2014 統計編 教育指標」より抜粋

x データが 2008 年から 2012 年以外の期間のもの

y データが標準的な定義によらないもの、または国内の一部地域のみに関するもの

*中国を除く

現在、就学年齢に達しても小学校に通っていない子どもは、世界中で 6700 万人います。その多くは、発展途上国に集中しています。

■ 表を見て何がわかりますか？

- 日本と比較
- ベトナムとカンボジアの違い
- 小学校に入学後、卒業まで通い続けていますか？
- 初等教育と中等教育での差は？
- 男女の差は？
- 地域の平均と比較してみましょう



表に現れていないことも考えてみましょう。

基礎教育 「人々が社会の中で生きていくのに必要な知識・技能を獲得するための教育活動」を基礎教育という。

日本では幼稚園や小学校、中学校が大きな役割を占めている。基礎教育の内容はさまざまであり、国や地域など、社会や時代の状況で変わる。また、基礎教育はより高度な教育を受ける基礎ともなる。

識字 識字とは「日常生活で用いられる簡単で短い文章を理解して読み書きができること」であり、文字の読み書きと計算ができる能力を指すことが多い。国、あるいはまったく地域の中で、15 歳以上のうち、日常生活の簡単な内容について、読み書きができる人口の割合を識字率という。

先進国のほとんどが識字率は 100% 近くであるのに対して、発展途上国の中には識字率が 30% 以下という国もあり、また男性に比べて女性の識字率が低いという地域もある。生活をしていく上では読み書きができないことにより大きな不利益を被ることが多い。

資料 2) 学校に行けない 8 つの理由

理由 1) 学校が近くにない 貧しい国や地域では、学校の数が少なく、家からは遠すぎて通えないことがあります。

理由 2) 先生がいない 先生を育てる仕組みがなかったり、先生に給料を払えなかったりする国や地域があります。また、給料や生活環境の問題から、農村地域に先生が行きたがらないということもあります。

理由 3) 通学させるお金がない 生活のお金すら十分でないので、授業料や教科書代が払えない人が多くいます。

理由 4) 家計を助けなければならない 子供でも農業など家の仕事の手伝いをしなくてはならないことがあります。

理由 5) 弟や妹の世話をしなければならない 両親とも働かなければならないために、子供の多い家庭では、兄や姉が幼い弟妹の面倒を見なければならないこともあります。

理由 6) 親が学校に行かせてくれない 子供を学校に通わせるくらいなら、働かせたほうがまじだと考えている親や、女の子に教育は必要ないと考えている親がいます。

理由 7) 重病にかかった 貧しい国や地域では衛生環境が悪いうえに、栄養状態も悪いために、病気にかかりやすく、近くに病院もないために病気が重くなり、治らない子供がいます。

理由 8) 戦争に巻き込まれた 戦争などで学校が破壊されたり、移民として避難しなければならなかったり、時には少年兵として駆り出されたりする子供がいます。

資料 3) 学校に行けないことで起こる問題

■必要な知識を得られない 子供に必要な予防接種の情報や薬の注意書きなど生活に必要な知識すら得られないので、不利益を被ったり、危険な状況に陥ることがあります。

■計算ができない 仕事の給料や買い物の代金、おつりなどが分からずに騙されることもあります。

■仕事を選べない 必要な技術や能力を身に付けられないので、収入の安定した仕事や希望する仕事に就けません。

■社会から取り残される 話し合いの資料が読めない、選挙で投票ができないなど、自分の意見を表明することが難しくなります。書類に記入ができなくて、公共サービスすら受けられないことがあります。

「学校に行けない理由」と「学校に行けないことで生じる問題」にどんな関係があるでしょうか？

教育について社会が取り組む必要性を考えてみましょう。

参考文献：「国際理解教育実践資料集」独立行政法人 国際協力機構（JICA）地球ひろば 2013 年 3 月

■SGH 専用サイトの紹介



※SHG 専用サイトのトップページに大垣北高校の海外フィールドワークの写真が 2 枚掲載されています。(期間限定)ぜひ、確認してください。

本校はもちろん、他の SGH 指定校の活動情報なども掲載されています。

<http://www.sghe.jp/>